課題申請用 下書き様式

＜インハウス課題＞

■■■■■　ページ１：基本情報　■■■■■

１．実験課題名（入力必須）

　１-1．日本語（最大150文字）

|  |
| --- |
|  |

　１-2．英語（最大70ワード）

|  |
| --- |
|  |

２．希望ビームライン・装置

装置については、[装置一覧表](https://user.spring8.or.jp/ui/wp-content/uploads/equipment.pdf)をご参照ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | ビームライン | 装置 |
| 第1希望  （入力必須） |  |  |
| 第2希望 |  |  |
| 第3希望 |  |  |

３．研究分野分類

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| [研究分野分類表](https://user.spring8.or.jp/ui/wp-content/uploads/research_area_j.pdf)を参照（入力必須） | | 小分類 その他の場合のコメント |
| 大分類： | 小分類： |  |

４．サイエンスキーワード（最大50文字）

|  |
| --- |
|  |

５．所要シフト数[１シフト＝８時間]（積算根拠を「実験方法の項目に記述すること」）（入力必須）

|  |
| --- |
| ・ ?? シフト × ?? 回  ・ ?? シフト × ?? 回  ・ ?? シフト × ?? 回  （例：6シフト×１回、3シフト×2回という組み合わせが可能です） |

６．希望日時（yyyy.mm.dd hh）

　　複数回に渡って実施される場合は、全日程の最初と最後の日時を入力してください。日程の詳細

　　については、別途 [sp8jasri@spring8.or.jp](mailto:sp8jasri@spring8.or.jp) まで電子メールでご連絡ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 開始： | 終了： |

７．消耗品実費負担予算（最大50文字）（

　　当該申請課題の消耗品実費負担の予算名を記入してください。

　　例）科研費○×△　※手当する予算がない場合は、「予算なし」と記入してください。

|  |
| --- |
|  |

■■■■■　ページ２：共同実験者　■■■■■

８．共同研究者：ユーザーカード番号、氏名、所属

|  |
| --- |
|  |

注）共同実験者も実験責任者同様、事前にユーザー登録が必要です。Web申請時には、ユーザーカード番号の入力により、氏名/所属が自動入力されます。共同実験者のユーザーカード番号が不明の場合、氏名/所属による検索も可能ですが、共同実験者が氏名/所属によるユーザー情報検索を拒否している場合、実験責任者がユーザーカード番号を検索できません。必要な場合は、共同実験者に、ユーザー登録 > 登録内容確認/変更ページにて設定を変更するよう事前にご連絡ください。なお、課題採択後も共同実験者の変更は可能です。

■■■■■　ページ３：安全に関する記述、対策　■■■■■

９．安全に関する記述、対策

9-1　安全に関する手続きが必要なもの※1〜5

|  |
| --- |
| （□）該当なし |
| （　）高圧ガス容器持込み実験  （　）放射性同位元素の持込み及び使用  （　）放射性発生装置の新設及び改造、使用目的の変更、性能の変更  （　）国際規制物資（核原料、核燃料物資等）の使用  （　）法規制されている装置等の設置  （　）法規制されている化学物質の使用  （　）特定外来生物の持込み  （　）牛の特定部位の持込み  （　）輸入禁止品（植物防疫法）の持込み  （　）遺伝子組換え実験  （　）ヒト由来材料を用いる実験  （　）高出力レーザ機器の持込み  （　）動物（生きた哺乳類、鳥類、爬虫類）の持込み  （　）特定生物試料（他の生物に感染性を有する生物・物質及びそれに由来するもの）の持込み |

※1：該当する物質および実験は、使用または実施前に手続きが必要なので、来所前に[必要書類](http://user.spring8.or.jp/?p=28858&lang=ja)を提出すること。

※2：｢法規制されている装置等」とは、高圧ガス製造施設、局所排気設備・ガス供給排気設備、クレーン等。

※3：｢法規制されている化学物質｣とは、  
特定物質・第一種指定物質（化学兵器禁止法）、特定毒物（毒劇法）、製造等禁止物質・石綿等（安衛法）、薬事法の指定薬物、麻薬及びその原料、覚せい剤及びその原料、大麻（樹脂）、あへん及びその原料等、向精神薬、指定数量1/5以上の危険物（消防法）。

※4：｢高出力レーザ機器｣とは、JIS C-6820に規定するクラス4、3B及び3Rのレーザ。

※5：｢特定生物試料｣とは、病原微生物（感染性を持つ核酸・プラスミド・プリオン等を含む）、寄生虫並びにこれらの産生する毒性物質、発ガン性物質及びアレルゲン等、生物学的相互作用を通して、人体・家畜・農水産物に危害を及ぼす要因となるもの。

9-2　SPring-8において必要とする施設の装置、器具（最大200文字）

|  |
| --- |
| ビームラインに常設しているレーザ機器を使用する場合(例：BL40XUのYAGレーザ)は、“常設しているレーザを使用”とご記入ください。 |

9-3　測定試料及びその他の物質（入力必須：最低1項目は全ての欄に記入してください）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 物質名※6 | 形態  (形状)※7 | 量と単位※8 | 危険性※9 | 使用目的※10 | 拡散防止及び処理方法 | 安全対策 | リスクレベル※11 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |

※6：組成も記入すること。略称不可。

※7：形態とは持ち込む時の状態、形状とは中の物質の状態をいう

（例：キャピラリー(粉末)、ボンベ(ガス)、プレート(結晶)など）。

※8：単位を付けること。

※9：毒物、劇物、有機溶剤、特定化学物質、危険物など。

※10：測定、洗浄、冷媒、麻酔など。

※11：化学物質リスクアセスメント結果を入力。詳細はこちら(<http://user.spring8.or.jp/s/risk-assessment-j>)。アセスメント対象外物質の場合は、プルダウンメニューの「対象外」を入力してください。

9-4　持ち込む装置、器具

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 装置名 | 仕様※12 | 安全対策 |
|  |  |  |

※12：電圧、電流、圧力、温度なども記入すること。

■■■■■　ページ４：提案理由など　■■■■■

１０．研究の意義、目的、特色、期待される成果（最大5,000文字）（入力必須）

|  |
| --- |
|  |

１１．本申請に関わるこれまでの研究成果、準備状況（最大600文字）

|  |
| --- |
|  |

■■■■■　ページ５：実験方法　■■■■■

１２．実験の方法（レイアウト、測定法、検出器、試料の濃度などを明確にする）（最大3,000文字）（入力必須）

|  |
| --- |
|  |

１３．ビームライン選定の理由（最大300文字）（入力必須）

|  |
| --- |
|  |

■■■■■　ページ６：画像ファイル添付　■■■■■

１４．研究の目的、または課題内容の記述の中で使われる図表を３点まで添付できます。

注）アップロード可能なファイル形式は、JPG/JPEG, GIF, PNGで、ファイルサイズ制限は各1MBです。

Fig. 1:

Fig. 2:

Fig. 3: